

介護ロボット導入報告書

施設名	ほほえみ福寿の家
施設の種別	特別養護老人ホーム
住所地	岐阜県関市稲口845番地

1 導入したロボットについて

ロボット名称	PALRO
介護の種類	移乗介護 移動支援 排せつ支援 見守り 入浴支援
ロボットの写真	

2 使用状況

使用状況

介護ロボットが
使用された場面

- ①ご利用者の重症度化に伴い、現場のマンパワー不足が慢性化していた。レクリエーションに関する業務時間が減少し、ご利用者の活動的な余暇時間が提供できない状況となってきた。
- ②レクリエーションの準備や実施に際して、PALROを導入する事で職員の準備時間を無くす事ができ、レクリエーションに対して敷居を高く感じている職員の意識を変える効果を期待して導入した。

3 導入によって得られた効果

得られた効果	<p>①PALRO 単体ではインターネットから会話の情報を集めてくるので、ご利用者と会話が成立するには難しい様子であった。レクリエーションや体操についてもある程度の精度を求めるには職員も一緒にご利用者と実施する必要があった。劇的に業務時間減少の効果は薄かった。</p> <p>②PALRO へ口頭指示を送るだけで実行されるため、実施するメニューで困る事はなかった。指示も口頭では入力されにくい場合は、アプリにて指示が出せるため容易であった。</p>
介護ロボット導入について介護士等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がついていないと、ご利用者が PARLO をただ眺めている状況になってしまう事があった。レクリエーションや体操に参加して頂くためにはマンパワーが必要になってしまった。 ・PARLO が歌って踊る仕草はかわいらしく、ご利用者や職員共の話題の種となった。 ・静かな時間帯のあるフロアも PARLO が勝手に歌って踊ってくれるため、賑やかな時間にしてくれた。

4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	社会福祉法人 桜友会 ほほえみ福寿の家
電話	0575-24-9570
Email	asanoy@hohoemi.or.jp
担当者氏名	浅野 陽一